

高齢患者の活動レベルとリハビリテーションプログラムが入院治療および合併症の発生状況に与える影響の検証

1. 研究の対象

2020年4月から当院で入院医療を受けられた方

2. 研究の期間

研究倫理審査委員会承認後 ～ 2027年3月31日

3. 研究目的および意義

本研究は、2020年4月以降の当センターの診療に係る診療報酬データ（DPC データ）と入院時に収集したリハビリテーション、介護記録のデータ（医療記録データ）を、患者さん個人が同定できないように完全に匿名化して研究用データを作成し、入院時の活動レベルやリハビリテーションの介入が入院医療の過程や合併症の発生にどのような影響を及ぼすか分析することで、高齢者の入院医療の質をより一層向上させることを目的としています。

4. 研究の方法

2020年4月以降に入院いただき皆様の入院データを使用し、入院中の活動レベル（日常生活活動動作、離床時間等）、リハビリテーション（プログラム、実施時間等）と入院医療の過程や合併症の発生等との関連を検証します。

5. 研究に用いる試料・情報の種類

DPC データ：厚生労働省の規定に基づいて収集しているデータで、保険診療に必要なものです。年齢、性別、病名、処置・薬剤等の種類、入院期間などの情報を含みません。

医療記録データ：入院中の活動レベル（離床の状況）、合併症発生の記録データです。リハビリテーション記録、介護記録、看護記録などの情報を含みます。

6. 研究組織

- ・研究責任者：救世軍ブース記念病院、リハビリテーション科、理学療法士、矢野翔平
- ・共同研究者：東京都健康長寿医療センター研究所、福祉と生活ケア研究チーム、研究員、光武誠吾

7. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。しかしながら、すでに研究に使用されていた場合には、結果の削除など十分なお対応ができない場合がありますことをご了承ください。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

〒166-0012 東京都杉並区和田 1-40-5

救世軍ブース記念病院 リハビリテーション科

研究責任者：矢野 翔平

電話 03-3381-7236（平日 9：00～17：00）